

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	入浴時間と入浴日は入居者ごとに合わせて設定しているが、入浴時間帯が午前中に偏っていること。	一般的な生活リズムに近づけた支援ができるよう、支障のない方については午後以降に入浴を実施する。	業務内容や職員の勤務体制を変更し、入居者個別に判断した上で支障のない方については午後以降に入浴を実施する。	1ヶ月
2	35	火災や大地震などの災害発生時、入居者の避難誘導など周辺住民の協力が重要であるが、周辺住民との協力関係の構築が不十分であること。	周辺住民に事業所の災害対策を知っていただくとともに、災害発生時における協力の必要性を理解していただく。	・運営推進会議の議題に火災や大地震などの災害発生時の対応をテーマとして取り上げ、周辺住民に参加を呼びかける。 ・自治会、周辺住民と合同での消防訓練を行う。	3ヶ月
3	33	終末期についての方針は契約時に説明し理解を得ているが、マニュアル等文言として明確に作成しておらず職員への共有も十分でない。	事業所として終末期対応の方針を文言化し、職員・入居者家族に周知、共有できるようにする。	・終末期ケアの定義、理念、方針などを記した終末期ケアマニュアルを作成する。 ・終末期をテーマとした会議を開催し、職員間で共有できるようにする。 ・入居者家族に機会をとらえてマニュアルについて説明し再度理解していただくようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。